



日本共産党 和歌山市議員
南畑 さち代

「戦争法案」 何としても廃案に！

日本共産党

こんにちは 市議員
南畑さち代 です

No. 62
2015・6・14
連絡先
453-7758



日本共産党の志位和夫委員長が5月27日、28日に衆院安保法制特別委員会で行った連続質問が大反響を呼んでいます。
志位委員長は、①憲法9条を破壊する法律の重大問題 ②アメリカの先制攻撃にノーといえない日本政府がアメリカの言うままに集団的自衛権を発動し、参戦する危険—について追及しました。

これまで自衛隊の海外派兵の法律には活動期間中に戦闘がおきる可能性がある「戦闘地域」には行かないという歯止めがありました。ところが今回の法案は現に戦闘が起きている「戦闘現場」でなければ、戦闘の可能性があっても活動できる仕組みです。そうなれば自衛隊員が「殺し、殺される」危険性が飛躍的に高まります。
志位委員長の「必要な場合には武器の使用をするのか」との質問に、安倍首相は、「自己保存型の武器使用にな

なげきつ核兵器！平和行進200人 馬場潔子さんがNPTの活動を報告

5月30日、市役所広場で原水爆禁止国民平和行進が取り組まれました。今年、国連で開かれたNPT再検討会議ニューヨーク行動に参加された楠見在住の馬場潔子さんが報告されましたので紹介します。

ニューヨーク行動に送っていただきました。参加して、核兵器禁止が圧倒的多数の願いだと感じました。被爆国なのにアメリカにしがみつき、核廃絶をリードできない安倍政権が世界の少数派だと実感しました。



今、戦争法案の論戦が激しさを増しています。私は、どの子も戦場に送りたくありません。私は20年以上前に平和行進の通し行進者として約3カ月歩きました。その時「平和行進は、歩くことで沿道の市民に平和をアピールし、平和の心を呼びさます運動だ」と言われました。私たちの歩く道が、原水禁世界大会につながり、世界に広がり、私たちが世界を引っ張っています。確かな自信を持ち、元気に歩きましょう！

る」と答弁。しかし志位委員長は、外務省自身が「国際法上『自己保存のための武器使用』という特別な概念や定義があるわけではない」とした文書を示しました。
直近の世論調査では安倍政権が法案を「十分説明しているとは思わない」が81・4%（共同通信）、「廃案にすべきだ」「今の国会にかかわらず時間をかけて審議すべきだ」が合わせて82%（テレビ朝日）となっています。また、和歌山市でも様々な取り組みが予定されています。私も「戦争法案」阻止のために全力を尽くしていきたいと思



子ども署名、4万6624筆を市に提出

6月8日、「子どもの医療費助成制度の拡充をめざす連絡会わかやま」がこれまで取り組んできた市長への要望署名4万6624筆を提出しました。

「連絡会」代表の佐藤洋一医師がお母さん方(22名)と一緒に荒竹宏之副市長に提出したものです。佐藤医師は「市民の要望の強さを肌で実感しました。なんとしても実現してほしい」

と強く要請。荒竹副市長も「しっかりと市長に伝え、対応を協議したい」と述べました。こどもの医療費助成制度は、今年度から入院費が中学校卒業まで無料となりましたが、多くの子育て世代の願いは「通院も無料」というものです。

「連絡会」は引き続き助成制度拡充にむけ取り組んでいく予定です。

議長：尾崎方哉議員、副議長：松井紀博議員

議会構成

至政クラブ	19人	公明党	8人
日本共産党	5人	誠和クラブ	4人
維新の党	2人		

日本共産党議員の常任委員会の所属

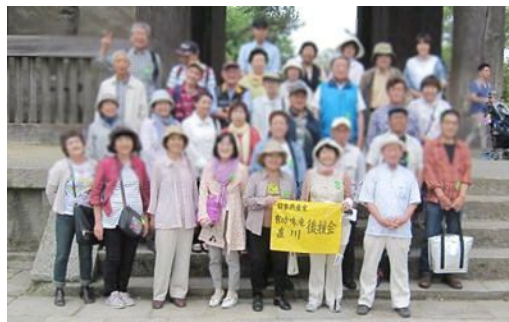
*総務委員会	姫田高宏、松坂美知子
*厚生委員会	中村朝人
*経済・文教委員会	森下佐知子
*建設・企業委員会	南畑幸代

臨時議会等報告
臨時議会が5月27日～6月1日に開かれ、議長、副議長を選出、新会派も決まりました。

河北ブロック後援会がバスツアー 初夏の奈良に行く

約12年ぶりに取り組まれた河北後援会のバスツアーに

33名が参加。東大寺大仏殿は「小学校の遠足以来や」「久しぶりやな～」などと言いながら見物し、春日大社やならまち散策を楽しみました。



滝畑で「ほたる鑑賞会/学習会」を開催

6月7日、滝畑の道路沿いの広場で、ミニコンサートも



無料生活法律相談

日時：7月 1日(水)
7月15日(水)
午後6時～7時

会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)

会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)

映画ご紹介

おかあさんの木

小学校中・高学年の国語教科書にも採用されてきたお話です。映画では、出征していく息子たちの無事を願い1本ずつ桐の木を植え、帰りを待ち続ける母親の姿が描かれます。戦争が人々にもたらす悲しみ、そして普遍的な、いつの時代にも通じる「母と子の情愛」がそこにあります。

「和歌山市母親大会連絡会」では、2,000円で特別ペア鑑賞券を取り扱っています。ご希望の方は南畑まで。

